

水源禪師法話集 90

(2018 年 5 月 4 日 山梨合宿 8 日目)

2019 年 3 月 14 日

一乗禪の会



ネパールの仏像・カツマンザー

目次

水源禅師法

世界のあちこちで法を説いて回る水源禅師.....	3
お釈迦様、達磨大師と非常に縁のあるアフガニスタン.....	4
水源禅師の家系と日本との壮大な関わり.....	6
苦から逃れたいが為に沢山の幽霊が海潮禅を待っていた忍野八海.....	10
達磨大師様.....	12
ミャンマーの修行道場の環境.....	14
仏舎利は変な所だと消えてしまう、本物の仏舎利がある所は凄い.....	15
瞑想で現れた素晴らしい現象.....	16

質疑応答

34 善心.....	18
八大地獄と四天王の天界.....	19
科学、物理学では話が合わないが、 ジャータカ物語の時間帯では合って来る.....	20
ジャータカ物語、ゴータマブツダ菩薩の出家.....	21
常不軽菩薩様が法華経の中の主題にある.....	22
MANIJU（マニジュ）を温めていつの世にか仏になる.....	25
宇宙の真理は一つだから、本当の事を掴みなさい.....	26
1 2 因縁をストップさせるには生死を観る.....	27
法華経の話は超宇宙を超える話.....	28
修行して法を掴みなさい.....	29
瞑想をせずして仏教を知る事は出来ない.....	33
全ては因縁.....	35

水源禪師法話

世界のあちこちで法を説いて回る水源禪師

まあちょっとご支援があればね。ちょっとお布施してきてあっちこっち、そういう風に使われて、実行ですね実行。まあスリランカの方も去年、沢山一乗会から沢山お布施頂いてね、私も同額お布施して。

まあこれで何か仏国にお返し出来たかな～と思って、特に法随観のそういう原点とかね、またマハーヤーナにもあるのだけれども、実際の手法として教えてもらったのはミャンマーの方で。

ミャンマーの方にも、個人的に沢山お布施しているので、今度は。やっぱり女性と子供が一番心配ですね。今の世の中。

エクアドルのロアの刑務所に行って、まあ、そこでちょっと私なりにお話をしたり、瞑想は全然出来ないのだけれども、一分間でもするからね。特に女性の囚人たちでちょっとお話ししたけれども、何で来ているか分からないけれども、もう本当にホロホロホロホロ泣いていて、私を見て何か知らないけれども、まあ通訳して、やっぱり女性は可哀想ですね、そういう刑務所で。

男性の方は多いのだけれども、女性の方が少なくてもね、そういう良い所に入れられて、何かの因縁があるのでしょうかね。

まあ野獣の想像を絶する男の方は。この世で、世間では見られない。だからそこでね、いや、一日百円でもいいからコツコツとそれで十分だよ～という事を、一生懸命説いて。

最後はパーリ語でお釈迦様のお言葉のナモー タッサ ・バガヴァトー ・アラハトー ・サンマー サンブッダッサ・・・それを唄って。まあ分かるか、分からないは、別としてお釈迦様よりの祝福をしました。

でも、やはりビルカバンバで、三年続けて、本当の少ししか教えないけれどもね。やっぱり、そこはそれを求めてくる人の村だから、世界中から。何か凄いエネルギーがあるのですね、太古の昔から。

だから、顔も巨大な山を、ひとつ掘っているわけですね。そういう事もあまり知られていないけれども。山に上がってみたら、本当に人工的に作った山なのですね、巨大な山。全部、顔がこちら、こちらにあったり、ラーマーヤナのようなお猿さんのような顔もズラリとあるし。

まあそういう事で、そこの河原でちょっと瞑想したらやっぱり観音様が二回出て来てくれてね、三回目ちょっと出なかったけれども。

そういう事で、又、ブラジルにも何か凄い所があるみたいだけれども。それ

でそれも紹介されて、ブラジルの方は「皆、あなたのような人が来るのを待っています」とか言っていましたけれども。「特にブラジルはオープンで何でも OK という国ですから」とか言っていましたけれどもね。

何かこれから日本の若者に対しての企画とか希望あればね、ささやかながら何かしても良いし、皆さんもう力あるからね。

浄財はもっと功德に上手に人を助けるようにした方が良いかと思って、政府には一杯あるのだけれども、なかなか浄財という細かい所にはなかなか行かない事もあるし、目も付かないし、政治的な方向ばかりで、心の本当の意味でね。

若い人たちを育てる方向で行くのが良いのかな～と思うのだけれども。だから、そういう事で何か提案があって、これは良いと思ったら、精神界的なサポートという方面でできれば良いのかな～と思います。という事で。

本当に仏法に出会うというのは本当に凄い事で、その本当の神髄に出会えるという事が本には書いてあるけれども、実際にぶち当たるという事が本当に難しい事なのですね、体験上。まあ秘密になるかもしれないし。

顕密の顕は本に一杯出ているけれども、蜜も非常に難しいし、極秘の秘、極となれば本当に別世界の世界の入って行ってそれも本物です。まあそういう事で。

何かご意見があればどうぞ。

お釈迦様、達磨大師と非常に縁のあるアフガニスタン

【参加者】

アフガニスタンは危なくないですか？危ないですよ？

【水源師】

危ないですよ。実は、私のあれではないのですよ。じーっと瞑想していたらね、強烈なビジョンがバーンと出て、カブール、アフガニスタンが分かるのですよ、一瞬にして。

【参加者】

お一人で行かれるわけですか？

【水源師】

はい。そうです。

【参加者】

ああ～そうですか、それはまた・・・

【水源師】

どこでも一人ですよ。

【参加者】

そうですか、しかも一週間か十日くらいですね。

【水源師】

やっぱりそのお告げで。何でこんな危ないところに、行かなければいけないのかと。二つなのです。エチオピアとアフガニスタン、もしそこがダメだったらアフリカだけでも良いよという風なビジョンでね。

第一番のチョイスがアフガニスタン、調べてみれば、なんと凄い所があった事が分かったわけですね。それもこの方がアメリカの中枢のソサエティーの方で、日本に原爆を落とした事に非常に心を痛めてね、学生時代から猛反対して、まあ中枢だから叩かれても、虐められないけれども。

それで世界百回周って原発とか原爆反対していたけれども、まあ、今このような状態で、私が UFO の事を話したら、さっそく調べてズーッと。「全くその通りだ」と言って、情報を持っているからね、熱心に参加して。その人がアフガニスタンのアメリカ大使館と仲が良くて、その紹介状でカナダとツーカーでビザの許可してもらって。

【参加者】

不思議ですね～そうやって、繋がってね。

【水源師】

その人から、実は他にアフガニスタンのカブールにはお釈迦様の時代からのお寺があるのですよって、え！って、それで調べてみれば、実際にメス・アナックといって 30 キロくらいの所ですね、郊外というか、カブールの端の端だけれども。そこに 1960 年代からフランスの学者が掘り出しているわけですね。

つい最近では、それが南伝の方に伝わって、タイの仏教会が資金を出したり。というのはタイのこうあるでしょう（頭法炎）、こうあれが出てねそこから、なぜこれがあるか知っていますか？お釈迦様のこれ。

あれは法火と言ってね、悟りを開けば炎を出しているのです。それでこうなる。それがあつたのを見てびっくりしてね、タイの方で沢山資金、それからハン

ガリアのブタペストの方からも沢山出てくるわけです。

だからブダペスト、ブッダのペストなのです。

【参加者】

実際そういう事が。

【水源師】

そうなのですよ。

だからハンガリアの方からさっそく資金が出て行くわけですよ、お金とかね。日本の仏教会も出しているみたいです、調べればやはり。私たちは知られてないけれども、そこに行ったかどうかは分からないけれども。

という風に、一番びっくりしたのは、達磨大師様がね、そこを通ったと言うわけです。

という事は、南から上がって通ったという事は、昔の長安からパミール高原を通してそこを通して、インドに帰ってやはり生きて帰ったわけですよ。だから 1500 年でしょ前、1500 年、1000 年以上のお坊さんに会っているから、今でもヒマラヤのどこかで生きていると思います。

だってその後、200 年後に自分の召使いを、六祖大使のところかどこかに送って助けたのでしょ。そういうお話したでしょ？

だから、私たちの想像を絶する、想像を超える常識外の世界だから。だから、そういうビジョン見せて、なぜか私が呼ばれて。そうしたら、なんと、アレキサンダー大王がね、もう、お釈迦様をこうして（手を合わせて、拝んでる）いるわけですね。

だからイルミナティのアスコロッド・エリスという哲学者がね、そこに行って一生懸命研鑽したのですね。それでダライラマ法王のチベット経典を一生懸命研鑽して、空の世界を分かろうとか、全部、西洋に実は、お釈迦様の論法がそっちにいつているわけです。実は、西洋からインドに入ったのではなく、もうギリシャのアレキサンダー大王の後で、すぐに哲学者が行って一生懸命仏教を勉強したみたいです。

まあ今日はキング・アショーカの楽しい話もしますから。大ロマンの話、硬い話ばかりだからね。

水源禪師の家系と日本との壮大な関わり

まあそういう風に壮大なストーリーなのですよ。それで日本にも与那国に海底帝国があったのだけれども、ああいう風に、日本も伽耶王国が今の和朝廷

になって、大和朝廷が今の天皇家で実は伽耶金氏、なのです。伽耶金氏、というのは韓国で 3,000 年と日本で 2,000 年、合わせて 5,000 年の歴史を実は持っているわけです。だから天から降りてきたというのです。中国も 5,000 年の天から降りてきたと韓国も天から降りてきたと。天皇も伽耶山の石の船で降りてきたという写真が私の家にあります。

【参加者】

伽耶山て、何ですか？

【水源師】

伽耶山というのは海印寺、海の印と言ってそこを古の何とかといって天皇家はそこを訪れたいと願っているみたいだけれども。

【参加者】

韓国にあるのですか？

【水源師】

はい韓国です。

昔、三つあったでしょう？弁韓何とかといって、新羅、伽耶、百済の三つの伽耶の国が九州に上がって来て、九州から南下して、日高から大津大阪に入って、それで生駒の戦いで今の天皇家ができたでしょう？

それまでにあった縄文王国が北の方に行ったわけだけれども、九州まで居たわけですね。

それで津軽藩というのは、その昔、非常に巨大で東北全部で、インド洋まで行っていたみたいです。

だから家の先祖が蜀漢（しょくかん）といって、三国志あるでしょ？あそこで敗れた時に、すぐに韓国を通過して日本に来たわけですね。なぜかといえば、私の先祖が日本を作ったと中国の学者が言っているわけです。壮大なストーリーです。

昔は、ジンギスカンが人を集めて遠征したでしょ？なぜ遠征したかといえば、昔、高句麗からこっちの国の人の巨大な国だったわけです。だから一瞬にしてロシア、ポーランドまで行ったのですよ。

その手法が今のノースアメリカのインディアンあるでしょ、あれも同じ手法で何かあれば皆が集まって一緒に戦いに行くわけです。だからジンギスカンが突然強くなったのではなく、元々そういう帝国のシステムなわけです。

だから、それぞれキリギスタン、ウズベキスタン、カザフスタンとかあれば

藩なわけね、津軽藩とか。パキスタン、藩の事。

藩というのは国の事、それぞれの国々で、前はそういう風に、巨大な一つの帝国だったわけです。それで南の方は中国のムーア帝国という、昔、海に埋もれたというけれども、それが今の与那国とかそこに繋がって見えなくなって、ホピーの伝説で東の兄の国からやってくると。

という事が与那国の海底にちゃんとインディアンの羽の冠が彫っているわけです、又大きい目もあるし。それでやっぱり天皇が退官する前に与那国を訪れるというのはその意味があってね。

大昔は広大に続いていたけれども、今はもう分断して人が分からないように、分からないように、喧嘩させるようにしているわけです。

そういう事が、今度は、今日はなぜそうなっているかという法随観のほうからね、説明しますけれども、なるほど。

やっぱりグランドキャニオンに、大体 10 メートルくらいの大仏がいるのだった。それを見た人に会って。そこには、やっぱり巨大な刀とかが一杯あったと言っていました。そこには、五万人の人が住む地下の町があって、それはアメリカとしては公表したくない。

昔の中国と関係がある、そういう文献があったとなれば、コロンブスの伝説が崩れるからね。それで全て隠して。

やっぱり、諸越（もろこし）の国からずーっと六ヶ月南下するとあるでしょ？ その諸越が私の諸家の諸葛氏の王国だったわけです。

それで、あっちに、こっちに行ったり来たりして、私の歴史の尺度から見れば分かるわけですよ。私の家系の物差しで見れば。

でも普通の人、学者でも分からないわけです。だから、中国の学者にひとつ私の歴史の少しの家系図見たらとても驚いてね。いやあ、ぜひ今度、諸葛氏の国際会議があるから来て下さいという事で。

だから、今でもそこのお寺に行けば子孫だという事で、すぐツーカーでね何もいらなくて、ゲスト VIP でね。だから、中国でその昔とても心配して、私がこういう案をしたら、トップ同士で通じるのですね。それで、私も北朝鮮の事とても心配して、なんとかお願いしたのですよ。いやあ、こっち一生懸命やっていますけれども、中々で、とうとう今、上手く行くようになったけれども。

という風に、表のあれだけではダメなのです。やっぱり、そういうカジュアルな方向で、そしてダライラマ様とも因縁があって、三人も座れる様な超豪華な王席でチベットの王様の料理（美味しい五十種類の小皿の薬料理）を食べさせてもらってね、こう、ちょっとお世話したという因縁と繋がりがあるわけです。

今でも封建主義ではないけれども、どこ、どこの出という事も関係あるみた

いで、そういう名前と話聞いただけで、ツーカーで話がうまく行ってしまうみたい。

だから青蓮院でも二回頭を下げてきたというのは、何か噂で知っているのでしょうか？私の家系とかそれ、遠い昔の。

実は私の家系がこの日本を作ったという事も。だからその弘法山の下に何かあるでしょ？私の先祖の遺跡の。

【参加者】

えっと何処でしたっけ？

【水源師】

弘法山の下に何か私の先祖がそこに来た様な、、、

【参加者】

何でしたっけ、秦氏？

【水源師】

そうそうそう。秦氏

【水源師】

それで家のお父さんが津軽に行ったけれどもね、ちょうど伽耶の国の人で話が全然困らないと、同じだって。抑揚もすぐに話せるって。

それで家の氏名は漆原で、藤原氏と同じ様に、漆原氏なのです。

だから津軽は、漆塗で有名な漆の産地。高麗朝が敗れた時、殆どの方が新潟に降りて来たのですね。新潟とか。だから非常にこう繋がりがあるわけですよ。

だからそういう歴史が分かれば喧嘩しないからね。喧嘩させるようにして全部消すわけですよ。

まあ、そういう事で。無明の世界に入ってなかなか上手くいかないからお釈迦様があんまり政治の事に携わらないで、今淡々この一週間、何も分からないけれども全然問題ないですね。

ラジオも何も無くても、それだけ無駄な時間を過ごしているわけですね。だから一年旅をしてね、何にも分からないけれども、帰って見たら、又同じ事を言っている。だから、ああ無駄な時間を費やし内で、一年得したと喜びました。

苦から逃れたいが為に沢山の幽霊が海潮禅を待っていた忍野八海

私達は、ここまで来て、座れるという事は本当に凄い事でね、正式な意味での座るという事ですよ。

やはり慈悲の心がなければね、進化しないのですよ、慈悲。だから世の中に出了ら、いつもコツコツ当たって苦しいと思うけれども、仕方がないのですよ。

ちょっと、ここから歩いて忍野八海に行けばね、ここはもう浄土。本当に。ちょっと歩いて、いやあ、ここは浄土だなあ〜皆座って。

今回凄かったですよ、阿弥陀様が出て来られて、サマディブッダのお姿で、千手千眼印、観音様の印でしたね、あれは、同じだ。ここから観音様の頭衣が開いて、スーッと降りてきて。

だからここで座れば皆、浄土の世界に入ったから、そのまま行けば浄土に行きますから。安心して。また来年も一回は、海潮禅をしますので。それがね、時期があれこれ決められないからね、雨降ったり、たまたまその日に。

いやあ、でもしたくなかったね、やればもう疲れて、その後たった 15 分 15 分もう我慢ならずに帰って来て、強烈なエネルギーというか。もう沢山の幽霊が待っていたのですね、この機会をです。

【参加者】

本栖湖の時も同じだったですか？

【水源師】

ああ、あそこは軽い、スーっといって、もう少し楽。
今回は沢山の幽霊がいたから。

【参加者】

先生 4，5 年前まで、ここで合宿されていたじゃないですか。

【水源師】

あの時は海潮禅も何もなかった。

【参加者】

でもその時は木花咲耶姫命さまがここに来て。

【水源師】

そう、サーっと万の神様が降りてきて。だか、天界の方が降りて来たのだと思うよ、あの時はワーっと。

【参加者】

あの時より、なぜ幽霊が増えちゃったのですか？

【水源師】

あの時は幽霊見えなかった。今回はもう見渡す限りでした。

【参加者】

それは海潮禅をやるうんぬんではなくて、ここに来た時にそう感じたのですね？

【水源師】

見えたよ、ちゃんと

【参加者】

その時に、来た時に？

【水源師】

そうそうそう。

【参加者】

海潮禅とは別に？

【水源師】

いやあ、だから何でこれだけ幽霊がいっぱい出て来るのかな？それは、まあ氏神様もここで、にこにこにこにこ。

【参加者】

可愛い子供みたいな？

【水源師】

そう、氏神様ですね、ここら辺にズーっと5，6人か

【参加者】

お団子になって、にっこりして、嬉しそうに見ているのですね。
お話を聞いているのです。固まって。面白いね～。

達磨大師様

【水源師】

面白いよ～。だから、そういうおとぎ話聞いてもね、ポカーンとしているでしょう？

私はこれからアフガニスタン行き、それからエチオピアに行くわけです。そんな旅ばかりですよ、私は。自分でここに行きたいという事ではなくね。

お告げが来て、行けばまたご褒美貰って良い事があるからね。じゃあ、行かなければいけないのか、最初、いやあ、どうしよう？命を落とすのか。もういやと思って行けば、そうしたら達磨大師様が来ていると。

だから来年は達磨大師様の真影を差し上げます、からね皆さんに。

【参加者】

シンエイって何ですか？

【水源師】

達磨大師様を書かれた顔。

【参加者】

いわゆる、達磨さんとちょっと違うのですか？

【水源師】

達磨大師様の本当の顔。

【参加者】

怖い感じじゃないのですか？

【水源師】

怖い感じですよ。

【参加者】

怖い感じ？

【水源師】

そう怖い感じ。というのは、あれは本当の自分の顔じゃないのですね。

【参加者】

何か先生そう仰っていましたね。

【水源師】

王子様だから綺麗な顔をしているけれども、ジャングルに入って大蛇が腐って、そこに行けば皆、病気になって死ぬから、その大蛇の身体に入って、川に投げて帰って来た時に、綺麗な身体が無くてね、他のごつい顔の行者の抜け殻が座っていて、仕方ないからその体に入って、そのようなごつい顔の身体に成ったという話です。

まあ、伝説か何かそういう話、それでグルーッとインド全部を周って、八宗の宗派と言って全ての大本の学校と論破して行って、だから二十八代目のお釈迦様の代を次いで、そして中国に降りて来たわけですね。

【参加者】

トロントに飾ってある大きな達磨大師様のとはまたお顔が違う？トロントの大きな達磨大師様の？

【水源師】

あれは私の家ですよ。

【参加者】

トロントに飾ってある大きな？

【水源師】

あれとはまた違う。

【参加者】

違うお顔？

【水源師】

ちょっと違う、あれはもう60年も絵を描いている韓国最高のお坊さんだからね。その方が私にずっと渡してくれてた墨絵です。

もうひとつは大博物館にいてその真影を見て筆で描きとって、それで少林寺に行って、達磨石見ればやはり同じような顔だった。それが九年間座ったからね、ニミッタで石にこう映ってしまったようです。

ミャンマーの修行道場の環境

長期戦はやはり南米あたりに行くか、南伝の方に行けば厳しいですよ。難しい、気候的に。だって 40℃でしょ？28℃は寒いのでこうしなければ。40℃で慣れて、湿気が 80～90%でしょ？

【参加者】

サウナみたいですね。サウナの中にいるみたいですね。

【水源師】

もうサウナどころじゃない。ふわーっときても、やはり集中するからね、集中するから座れるけれども、深い瞑想に入らなければ病気になると思うよ。だから殆どの人が病気になってしまってる。

【参加者】

ノートも湿気ちゃうのですか？

【水源師】

ノートなんて、紙なんてあるわけない、全部こんなものに入れなければ、全部ぐちゃぐちゃ。吸い取り紙。

でも、その地方の人が北方のメイシティに行くでしょ、もう寒くてガタガタ、唇真っ青、それで病気になるくらいです。だから南の人はそこでいいわけで、北の地方へは、動かせないようです。

そういう所だから、しっかり座れば出来るし、又、苦い果物食べるのですよ。もう絶対に食べられないくらい、苦いドングリの様な緑の果物をばりばり美味しそうに。そうすればね血が苦いから虫とか蚊に食われないのだと言っていました。

私たちは甘いコーヒーばかり飲んでいたらバチバチ食われて、これは美味しい血だと。だから比丘尼さんもいっぱい来るけれども、中国とか韓国からね、殆どの病気になってなかなか体力的に、やはりごつい人がたまに通過するくらいで。やっぱりなかなか条件がね、体力的な条件で難しい様です。

【参加者】

季節とかにもよるのですか？一日一年単位の。

【水源師】

季節も何もあったものじゃない。雨季というのは服が乾かない、だから衣でなければだめなのですよ。衣はね広げて干すでしょ、そうしたら何とか乾いて、それから草の上に干すわけですよ。そうしたら強烈な太陽でね、虫が逃げちゃうのです。

こういう服だったらもう、虫がいっぱい入ってね、バチバチ食われて中まで入って病気になるかも分からない。だから全て考え尽くして出来ているのですね。ああゆう衣とか大昔から。お釈迦様の前の時代から。

【参加者】

そこにお釈迦様が法をもって来られたのですね、そういう悪環境というか。

仏舎利は変な所だと消えてしまう、本物の仏舎利がある所は凄い

【水源師】

いや、キング・アショーカ大王が、アラハト様二人か三人遣わしたといたって、その法が未だにミャンマーに残っているのです。

それでお釈迦様はミャンマーには二回訪れたと言っていますね。スリランカには三回訪れたと言われています。バンコックには一回。だからそういう風にお釈迦様は強烈で、お釈迦様の左足がメッカに一つ、バチカンのローマに一つ足跡が置いてある。左足だけです。

【参加者】

そこまで行ったという事ですか？何で足跡を残しているのですか？

【水源師】

知らない。やっぱり魔を抑える為に左なのか？右足はスリパーダに一つ、もう一つはどこに置いてあるか（ハイデラバード、インドと言われている）。歯も四つでしょ。二つがスリランカ、一つが中国、一つが台湾の仏光山、それがアフガニスタンから来たというから話が合うわけです。

クシャン王国の古いお寺の、その辺りからズーッと代々持っていてチベット仏教のお坊さんに渡って、それをダライラマ様に差し上げまして、ダライラマ様が仏光山の星雲大師大和尚様に差し上げた。

【参加者】

日本に名古屋にあるタイの国からもらった菌というのは本物なのでしょうか？仏舍利。

【水源師】

仏舍利は持っていると思うけれども、殆どのの仏舍利は地上界にはあるかどうか、私の仏舍利は天界から頂いたのですよ、スーッと不思議。

天から降りてきました。仏舍利というのは非常に大切だから、変な所だったら天界へ全部持って行ってしまうみたいです。来てるかもしれない、名古屋にある、エネルギーがそうだったらそうだと思うけれども、私たち座ったでしょ？仏光山で。

【参加者】

あそこは凄かったですね～。

【水源師】

そういう風にバイブレーション、キャンディのそれもそうだし、霊光山の仏菌もそういう風に力があつたし、スリランカのブロンロールのそこもあつたし、だから本だけでは全然分からないです。

本は本当に空想小説の世界の本で何でもあり、でも実際に行けばもっと凄いんです。もっと摩訶不思議な事が言われて、そこにあります。

瞑想で現れた素晴らしい現象

皆さん、何か観ましたか？観えた？今日、Mさんが座っていたら、こう黄色い数珠がね、こう下から上がってね、フーッと光になって来たというのですね。何だろうと、それは「お釈迦様がね、祝福しているのですよ」と。

それはMさんだけではなく、白のサマディブッダは災難を消します。赤は皆さんに福を持ってきます。それが混ざって黄色の色になって増幅して皆さんを祝福してくれているわけです。

だから阿弥陀の海潮禪に時間が間に合わなかった方でもちゃんと天界の方で福を上げていますから安心して下さい。こう座っていたらね、私の身体が白い光が出てね、スーッと天界に通じて、そうしたら観音様が白い衣で降りてきてね、赤ちゃんなのか知らないけれども、こう私に渡すのですね、そうしたら蓮の花になってね、どんどん大きく、大きくなって一杯蓮の花が出てきて、皆さ

んに全て参加した方に蓮の花を持って来て下さったみたいですよ。

そうしたら、天女が現れてね、その蓮の花をフーーーーッと大きく吹いたら、チーンチーンと鳴って、そのまま座っていたらスーッと。今日は四月四日でね、四四はししで、死を意味しますけれどもね。4 + 4は8でね、八は富士山で八の字で、まあ四月四日、八の字になって良かったですね。ま、そういう現象が私には現れました。また今までのお話で何か質問ありますか？



ボルボドールの満月

質疑応答

34 善心

【参加者】

先生今までの話で 34 善心ってよく仰られますよね。

【水源師】

はいはい、結局クサラですね。クサラ、アクサラで。

【参加者】

その 34 善心というのが揃うとパンニャが出てくるのですか？

【水源師】

そうです。

【参加者】

つまり、それが出ないという事は、足り無いわけですね。34 無いという事です。

【水源師】

いや、クサラで過ごせばパンニャの時空がいつも入るから、それがどんどん大きくなって、生活の中で精神が向上していくという事ですね。

だからそういう事があればね、昨日お話したように、輪廻転生する時にね、何が一番問題かと。それは強欲と説明したでしょ。それでその 34 善心のところに入るのだけれども、12 因縁のどこね、いつも説明したでしょ。

結局壮大なストーリーはそこに入ってくるわけです。強力な強欲とか、また人を卑しめるというような事とか、またデリューション=delusion、モーハ=moha 騙しですね、人を騙すとかそういう事。

結局私たちが、この慈経で言っているでしょ？この慈経で言っているお祈りしているここですね、「何びとも他人を欺いてはならない。」デリューション delusion。「たといどこにあって他人を軽んじてはならない。」平気で差別とかそれ、「お互いに他人に苦痛を与える事を望んではならない。」強欲というか。

昨日ジャータカ物語でお話した様に、第一妃が子供を産めば、妃が一杯宮殿にいるから、いつも対抗する妃が子供ができなかったと。そして、第一王子が産まれ、その場に行ってそれを皆の前で食ったと、本当にそのまま。夜叉にな

ったわけですね、鬼。

女の鬼になったと。そういう、凄い強欲で敵対してもうヘイトレッド=hatred、美人の中のそういう世界があるのですね、宮殿で。

それも強烈な心が表れるのでしょうかね。中国の経典でも大変なそういうお話が過去にありますけれども。それで第二の王子が産まれたと。またスーッと入って行って、夜叉になってしまったからね、姿も消すからぼんと食べたと。第三王子も食べたと。

今度は、第四王子が産まれる時は、兵隊をずーっと囲んだ、それでも姿が見えないからスーッと取られて墓場に連れて行ってその王子に夜な夜な人肉を食べさせたと小さい時から。まあ、そういう風な恐ろしい話があるのですね。

八大地獄と四天王の天界

それは何処から来たか？と言えば、この三つの事からくるわけです。その反対が、そうしちゃダメですよという事をこの慈経で言っているわけです。ここが、一番大切な慈経の所で、なぜかといえばね、八大地獄というのがあります。

まあ、色々恐ろしい所でね、一番軽い、八大地獄の業の長さというのが、1.6劫という、一劫が五十六億七千万という数字とか、それははっきりしないけれども、途方もない数字なわけですね。そういう暗い所に落ちて行くと。

それで第二業が十三兆百億八百五十二万六千八百二十一劫、気が遠くなる、その後は五京三千八百四劫、その後は半中劫、そして阿鼻地獄という途方も無い所に落ちていくわけね、だんだんと。

逆に良い事をすれば、四天王の天界に生まれ、忉利天、夜摩天、兜率天、化樂他化自在天という天国もあります。こう言われているのですね、こうして皆さんが修行をしているという事は、大変な幸運をもたらすわけですね。皆さんの人生において。なぜかといえば、こういう事をする事によってね、心の浄化作用が始まるわけですね、色んな、そういう人をヘイトレッド=hatred というそういうのも無くなるし、この慈経の書いてある、それから強欲というそういう悪い事をしても、苦痛を与えると悪い人、虐めとかねそういう事も離れるし、そして、また人を騙して欺くという事からも離れます。

なぜそういう事が大切かといえば、地獄に落ちたら大変ですよ。悪業はそうなりますよと言っているわけです。

科学、物理学では話が合わないが、ジャータカ物語の時間帯では合ってくる

その昔、お釈迦様がね、遠い、遠い昔ヴァーラーナシーという町は、前はカーシー (Kashi) とかいう名前で、ずーっと遠い遠い昔、結局私たちの科学は宇宙的科学でこの地球は、宇宙が百四十億年かな Fourteen billion years。ところがね、それでは話が合わないところがいっぱい出てくるわけです、物理学的に。

金とか銀とかこの地球にあるわけでしょ？ 最初ビッグバンが始まって、そして最初に出来たのがこういうパーティクルで、出来たのが水素。それが固まって太陽になって、それが爆発した時に、そこから酸素とかカーボンが出来るわけですよ。そしてそれがまた固まって、それから今度は重い太陽ができて、そこから今度、金とかそういうものが出来ます。それがもう一回、今度は、固まって爆発した時に、ウラニウムとかそういうのが出るでしょ？

だから宇宙物理学的には、実は、話は全く合わないわけ。だからそういう計算でやれば、もう百兆年とか三百兆年という数字が出てくるみたいだけれども、これはまあ置いといて。

だからそういう観点からいけばね、このジャータカ物語の時間帯が合ってくるわけです。私たちの思っている時間帯は、現実には合わないわけです。この地球にウラニウムとかねそういう核爆発的なものは存在するはずはないわけです。

その百四十億年の時空からしたら、なぜかといえば太陽は五十億年前にできということから話が全然合わない。

前にも言ったでしょ？ 進化論は何かおかしいと。というのは進化論の DNA は、四次元の時空でどんどん変わっていくから、アニッチャ、どんどん変わっていきます。

常、無常。結局トラさん、猫ちゃん、ライオン、パンダちゃんとかこう広がって、時空がそれが横でしょ、平面的から横、平面になって今度は時空、どんどん地球の環境が変わるから、今度は立体でしょ？ アフリカから来たから、今度は時間が変わるから時間が時空が変わるから、千年、万年、十万年としたら全然違う物質になってくるでしょ身体が。

だから四次元の空間でどんどん変わって行くわけです。それがたったこの細胞の髪の毛にも無量の DNA があるわけでしょう？ 一つ一つの細胞に。

人間の体は、 60×100 兆の細胞があるらしい、この中、細かくいけば全部数えれば。まあ恒河砂の数になるみたい。恒河砂がその数で恒河砂の数の仏が大宇宙に入ると。そういう事を踏まえながら考えなければね、御経の話が合わなくなってくるわけです。

それでまた現代の科学で昨日、長々と説明したでしょう。地球と月の関係、三角関係ありえない話でしょう？

どっちも喧嘩するようになっていきますね、今。絶対的に話が合わないようになっていきます。科学も現在の事を説明し切れないで、結局、説明し切れないから、世界中にあちこちにジャイアントの骨があれば、必ず粉々にして潰すか、隠しめます。

それから二千万年前の石器とか、そういうのが出れば隠して、数字を替えますとか。

ところが、こういうジャータカ物語を読めばそういう数字が合っているわけですね。28 仏のところもちょっと説明したけれども。

ジャータカ物語・ゴードマブツダ菩薩の出家

久遠の昔、王子様になったり、それからライオンになったり、王様になったりとか、その中の一つだけれども。

ある時、お釈迦様がね、ケシノという王国の第一王妃の王子として生まれ、その時に、同じように他の妃が王子を産んで、ふたりとも仲良く育てられて、立派に育てられて、そして、立派な先生の所で勉強して、とても仲良く暮らしていたらしいです。

そして、ふたりが今度は森に入って、もう、姿、形も美しいし、この世の人とは思えないくらい立派な姿、形をしていた方でふたりとも。それでゴードマブツダが第一王子で、その時、その村の、森の村で接待されてその村の長がゴードマブツダに白いキャンパスを下に置いてもてなししたわけですね。黒いクロスとか。

それで、もうひとりの王子には、赤い衣を敷いて接待したわけ。その時に第一王子、クラウンプリンスではないそのプリンスは、ああゴードマブツダはもうすぐ王様になるのだと。そして、その時、王様が死んで、誰を今度、王にするかと。

勿論、クラウンプリンスのゴードマブツダとお城の会議で決まって、トランペットを鳴らしながら、大勢の方々が王子様を探しに来たわけですね。ゴードマブツダともうひとりの王子がそこに居た時に、召使いが牛車で来た時に、その王子は姿を隠して、そのまま森に入って消えたわけです。

ところが、ゴードマブツダはそのまま牛車に乗って、宮殿の牛車ですね、豪華な車に乗って、それでお祭りして、その時に、ハタと気が付いたけれども、自分の大事な「友達が見えない、見えない、何処へ行ったのだろうか？」と。ふたり仲良く育った兄弟みたいな半兄弟が森にそのまま入っていったわけです。

それで、その王子はその森で普通の人になって暮らして修行をしていたわけね、禁欲の修行。それがブラミンと言って、今でもインドではしますけれども、同じ手法です。

そして、お釈迦様がズーっと年が経って、十年しても二十年しても出て来ない、それで宮殿のそういう踊り子とか歌唄いを使って、そういう歌を作って私は探していると。それでも、いくら探しても出て来ない。

それで、五十年目経って、その歌が森に入っている Half-brother というか、異母兄弟の王子が、「ああそうか、ゴータマブツダ菩薩は私に会いたがっているのか」と。

そういう事で、少年を使って、今度、歌を唄って王様に居るところを教えただけですね。そしてゴータマブツダ菩薩が最後にととうとう会う事ができたと。

会った姿は、もう普通の乞食みたいな禁欲のそういう姿で出てきて、色々本当の真理を教えてくれるわけです。

「人生はいかに生きるべきか？ こういう事をしていたら、結果的には色んな欲がいっぱい発生して良くないですよ」と。

そういう事を、色々お話して難しいですよ、長いストーリーでね、簡単に言えばこういう事で。それで、ハタと王様は気が付いて、「私は今から全てを捨てて、森に入って禁欲の生活に入ります」と。まあ衣は一本で、出家ですね、出家。

そして、全ての王国の財物、宮殿全てを王子に与えてその日から入っていったわけ。そうしなければ、結局、王様だから戦争をして森を焼いたり、良い事もするけれども、悪い事もするから、凄い因果がかかってくるわけですよ。

だから、私たちは王様でもないし、そういう高い地位にないから、非常にまだまだ楽な方でね。だから簡単なこれを三つ守れば良いし、それでこういう風な浄土みたいな所で修行が出来て、今、実際に天界から蓮の花を皆さんに持って来てくれました。

だから安心して、このまま何も考えずに淡々と生きていければもうそれで大丈夫です。

常不軽菩薩様が法華經の中の主題にある

私の話は、法華經に比べれば、百分の一の話くらいしかなくて。法華經はその百倍の壮大な話なのですよ。

その昔、常不軽菩薩という方が居られてね、この常不軽菩薩は釈尊の前世の姿でもあったと言われる方ですね。そして、その昔、威音王如来という同じ名前をもつ二万億の仏が次々と世に出られ、最初の威音王仏が入滅した後で像法

の世で増上慢の比丘など四衆（僧俗男女）が多い中にこの常不輕菩薩が出現したといわれます。

常不輕菩薩は出家して出家・在家を問わず「我深く汝等（なんだち）を敬う、敢（あえ）て 輕慢（きょうまん）せず、蔑視せずゆえに皆さんを菩薩行の道を行じて、当（まさ）に仏になって下さい、成道して下さい」と礼拝しましたがけれども、もうこの四衆たちからは、悪口は言われる、杖や枝で、それから瓦石をもって彼を迫害したわけですね。

常不輕菩薩は臨終が迫った時、虚空の中において、威音王仏が先に説いた法華經の 20 千万億の偈を聞き、六根の清淨を得て、2 万億那由他という永い寿命を得て、広く人の為に法華經を説いたと。

これを聞いた増上慢の四衆たちは、その所説を聞き、みな信じ伏し随従した。常不輕菩薩は命を絶える時に、同名である 2 千億の日月燈明如来という仏に値すると、また同名である 2 千億の雲自在燈王如来という仏にも同じであると、法華經を説き続け、諸々の善根を植え、さらにまた千万億の仏に会い法華經を説いて功德を成就して、最終的に彼も仏と作（な）ることが出来たと。

不輕菩薩は自身が誹謗され迫害されても、他人を迫害するどころか、仏法に対する怨敵などと誹謗し返さなかった。この精神や言動は、宗派を問わず教理を越えて、仏教徒としての原理的な行動・言動の規範としてよく紹介引用されますと。

結局、法華經の根本はね、他のあれはこれだと言ってはダメなのですよ。阿弥陀を唱えれば地獄に落ちるとか、座禅をする人を坐魔みろと。

こういう事を、法華經を唱えていう方は、完全に法華經を否定しているという事を肝に銘じなければいけませんね。

という風に、常不輕菩薩様が法華經の中の主題にあるし、こういう凄い久遠の方からもう何回も何回も説かれて。つまり、私たちが一乗の教えお釈迦様の教えです、一乗というのは、エカヤナ。

邁進している。こういう事をして下さいという法華經に書いてあるわけです。やっぱり觀音經、法華經にあります、まさにその事を私たちは知らずにして、読まずにしてもちゃんとやっているわけです。

そういう事で、今回天界から皆さんに一人一人に蓮の花を持ってきました。だから阿弥陀様が出て来られた、その場にいらなくても同じ事ですから安心して、そのままぼちぼちと精進してやって下さい。まあそういう話ですけども。良いでしょうかね？



白衣観音様

MANIJU (マニジュ) を温めていつの世にか仏になる

じゃあ、今日は質問を少しして終わりますか？軽くして、後はぐっすり寝て下さっても良いし。

まあ、ここが一番大切な事で、何回も説明しましたね。12 因縁の執着、タンハー (Tanhā) = 渴愛、つまりこれはね、音、匂い、味、触、情報、それから性、持説これが全部入ります。

だから、この事で悪い、さっき言ったこの三つですね、これに関わらなければ大丈夫。暗き所に行きません。これとこれが引っかければ暗き所に行きますから、さっきゴータマブッダがプリンスの時、一緒に育ったもう一人の王子が森に入って最終的にはペティカブッダ (独覚仏) になったわけですね。

ペティカブッダになったから、その方が死んだ時はもうブッダに涅槃に行ったと。それでお釈迦様はそのままズーっときて私たちにこの宇宙で最高の法を教えて下さったわけです。

般若心経にある「究竟涅槃 三世諸仏 依般若波羅蜜多故 得阿耨多羅三藐三菩提」の事を説明すれば皆さんは得阿耨多羅三藐三菩提を持たれているわけです。

それを MANIJU (マニジュ) といいます。それは「オームマニペエメエフーム」＝「おおーマニジュを持つ蓮の上のしずくのような人達よ」という事なのですね。

だから、そのマニジュが得阿耨多羅三藐三菩提になるという事で。皆さんがそれを温めていつ世にか、仏に成るという事なわけですね。

だから、強烈な時空の地獄界でも、それを置けばまたチャンスが出て来て、まあ、人間百年だけでも、数千後とか途方もない所に行って苦しむのは辞めてくださいという事です。

ただ、淡々と今の様に生きて、さっき言った慈経のそこの三つの大切な所を守っていけば問題ないし、そして、皆さんは蓮の花を貰ったし。それで法華経の一番大切な事は、最後の、龍女が女ですね、「女は成仏しない」という伝説がありますけれども。最高の説は、龍女、人間でない龍女であっても「我に三千大千世界の宝あり」とマニジュの事です。それを差し出しますから仏に成れますか？勿論成れます。という事で、その龍女が今度ある仏界の時空に入って仏になるという話なのですね。

この地球はバーチャルリアリティーという事は、私が瞑想をしていって、六年くらい前にね、ロシアの科学者に、「あの君、この地球とか全てこの宇宙は、全くバーチャルリアリティーの世界だよって」、「はい先生、ロシアの科学者がそういう事を説いた論文があります」と。今そういう話が出て来ているのです

けれども、その内容はこれくらい深いわけです。

深い、深い内容になっているわけです。だから、そう簡単に直線的な思考で考えないように。足も痛くないしバーチャルリアリティーだから、永遠に座れるし苦しみもないし、全部ポンポンと上手くいきます。

まあ人間そういう事が好きだからね。まあ、そういう事で質問がなければ、お終にしますけれども。質問があれば回答します。何かありますか？

宇宙の真理は一つだから、本当の事を掴みなさい

【水源師】

先生、あんまり今までとは関係ないのですが、、、。

【水源師】

ああ、何でも良いですよ。

【参加者】

年末年始にネパールに行って色々観光してきたのですが、現地でよくマリーゴールドの黄色い花が、いろいろ飾って、凄く綺麗だったのですが、それとは別に、最近何かメキシコとかの映画を見て「死者の何か祭り？」何かマリーゴールドとか、チベットとかでは、色の祭り？とかが結構あったりして、多分ネパールとかメキシコが直接的には頭の中では繋がらないのですが、何でそういう似ているようなものが、、、何か？

【水源師】

やっぱりあれですね、地域文化によって全然繋がっていないと思っているけれども、実は久遠の昔から繋がってそれが出てきているわけなのですね。

やっぱり、その黄色い色は、福と災難をよけて黄色い色になってそれをもっと増幅すると。

だからカクサンダーブッダが、赤に黄色の金色で、それが光ればパニャの光になるという事で。ただ色を付けているわけではないのですね。

【参加者】

何かやはり共通してきてしまう？

【水源師】

そうですね。宇宙の真理はひとつだから。結局ここで本当の事を掴みなさい

というメッセージですね。本当の事を掴んで下さいと。それぞれの体験によって。それが成仏道が一番早い道だというメッセージを頂きました。
他に何かありますか？

12 因縁をストップさせるには生死を観る事

【参加者】

以前に12因縁というのは、死ぬ前5秒間の間に。

【水源師】

そうです、そうです。それがタラタラっと入って来ます。

【参加者】

と仰ってましたけれども、これをストップさせるためには、勿論生前修行をするという事が一番大切だと思うのですが。

【水源師】

はいそうです

【参加者】

12因縁をストップさせる一番大切な修行というのは、どういう修行なのでしょう？

【水源師】

やっぱり12因縁の生死を観ることです。ずーっと観て行って、そして未来にあなたが何処に生まれるか観えるから、それが嫌だったら、もう一回それをやり直すわけです。

というのは、死ぬ時は沢山の道が出来るから。例えそれが観た事がその通りにも替えられるわけです。生きている間は。だから私が次の世に生まれる時が、疑似浄土みたいな所を観たわけですね、いや、これは違うなあと。

それでウレワデ・バンテがもう一回やり直してくれと。そして、今度は私は死ぬ時に座りながら死んで行きましたと。あ、それぞれ。それをやってくれと。そうしたら、結局、兜率天に生まれる事になって、それで弥勒菩薩にお会いして一輪の花を捧げたわけですね。

その時に、Gさんの家で瞑想した時に、その法の花が咲いたと、一輪の花の事だという事が分かったわけ。それも、黄色い花です。黄色い花。

だから、いやあ、天界ではそういう花も与える事もないし、受け出る事もなし、全て出てくると。という事だったけれども、実際はそういう事なのですね。

法華経の話は超宇宙を超える話

経典に書かれていますけれど、全てアニッチャですから。現実が全て決まっているという事ではないわけです。どんどん現象も変わって行くという事で。

それで、何回も言うように、二十八仏というけれども、こういう風に法華経には、私以上に壮大な話、超壮大な時空ですよ。

だから、もし、私の話が壮大だというお坊さんが居れば、法華経を全然読んでいないという事。全然に読んでいないという事です。

法華経の、常不軽菩薩のお話をしたけれども、という事でバレるわけね。どれくらいのお坊さんが私の話を真面目に聞いているか分からないけれども。

まあ本当に信仰しているのか？勉強しているのか？もう一回経典読んでみて下さいと言いたいですね。

その通り、本当に理解しているのかと時空を。ちょっとこの近年の地球における時空でも想像を絶する壮大な話なのに。

この法華経の話は、これはもう、超宇宙を超える話でしょう。そういう時空とか物理学を分かって初めて分かるくらいでその凄さ。

ただそれを、「あ、お話」と。これでは話にならないと思いますよ。それで飯食べていたら、それこそ恐ろしいものの中に入って行きますよ。教えられたからと言っても、因縁応果の法則で信じられない暗き所へ入ります。

あなたは どうしてそれを確認したの？とある比丘に聞けば、いや、私の先生から聞きました。じゃあその先生はその前から聞いたと。だから言われてその通り信じて、それではだめだと、確認しなければいけないとお釈迦様は言っているのに。ただ言われたからそうしていると。そりゃあ楽ですよ、研鑽しなくても良いから。

じゃあ、学校で試験出すでしょう、先生が言われているかどうか、それで100点から0点あるでしょう。しっかり覚えてその通り覚えて100点取る人も稀だしね、その先生が教えている事が本当に確かかどうかは、あと大学卒業してそれを自分で研鑽しなければいけないでしょう。

大学ではそういう事を教えるけれども、先生は自分で後は研鑽して下さいねと。やっぱり正しい事言っているけれども、僧界に入ればそれこそ研鑽して下さいと。お釈迦様がしょっちゅう言っているのに、この中で、私の3つのお願いはと昨日言ったでしょう。ダンマの法をちゃんと掴んで出来なければまずメ

モリー、しっかり心に入れて今度それを修行して、実際にそれを体験して。今度体験して、それを実際に応用して、人に伝えて下さいと。この3つのお願い。入っています。

でも、難しい本はよく読むのですね。わけのわからない難しい、難しい本は一杯読みますね。何の為か分からないけれども。まあ、そういう事で。

修行して法を掴みなさい

噛み砕いてね、こういう経典でも、どこが大切かという事を噛み砕いて、ここを基本にして、そう硬くならずに、淡々と生きていけば日々平安に過ごせます。

私もこの世はあと、10年かそこらで往くわけですよ。20年かたかだか。永遠の時空ではないのです。

私が50の時は、まだ今に比べればヒマラヤに登ったり、世界中飛び回るけれども、まあこの年になれば、もう身体も段々体力も落ちて、思考も落ちてくるわけです。永遠ではないわけです。

だから、若い時に皆さんが一生懸命修行してね、少しでもこういう法の世界に近づけば、今でもご褒美貰っているから、間違いないという事なのですよ。

特に言っていますよ、日本とか東洋にはこういう仏教の教えがあると。ヨーロッパとか北米には全然ないと（経典哲学の本は有ります）。南米とかアフリカが出さないのは、もっと理解できないエリアで、こういう風な仏国に生まれて、こういう風な文献もあるけれども、結局、未だに法がなかなかここに伝わっていなかったわけですね。

だから、こうして、こういう法を取るには弘法大師様が西方にあると、取りに行きなさいと言っておられるわけ。そこに行って。まあ過酷ですよ40℃。30℃は涼しくてね、湿度80, 90%。

でもそこで全部2,000名のお坊さんが毎日座っていますよ。10時間くらい毎日。

それでも、成功する方が少なく、それでもチャレンジするわけですよ。それが功德になるわけですね。比丘だから、当然徳を皆さんに与えなければいけないからです。それで大徳と言います。

名前だけ大徳でそれをしなければ、それは、ちょっと比丘という名に値しないし、大徳寺といえは比丘のお寺、だから皆、中国でもどこでも比丘の事は大徳と言います。

つまり、徳を沢山、皆さんにお渡しするという使命があるわけですね。それは偉い、偉いお坊さん方々だけれども、私みたいなこういう半分在家で、こう

してあちこち行って、こうして手法をね、伝えているから、本当にお坊さん方は、肝を銘じてこの、法華經に宗派を超えてとちゃんと書いてあるのだけれどね、全く無視してそんな事をして本当に良いのですか？と。

死の直前が非常に大切

大変な事になりますよと、パオセヤドーもこの本の中で言われているし、さっきの3つのこの原因で暗き所に行くから辞めなさいと、その反対をして下さいと。だから慈經という事がちゃんとここに書かれてあるわけです。これが本当に大切な事を、ただ話で終われば本当に大変な事になりますよと言っても、まあ、しょうがないのでしょうね。

もう、地獄が大好きで。どれだけ苦しい所か。シリア、リビアどころの話ではないのですよ。それで死んでお終いではなく、死んでは生き、死んでは生き、何回でもやらせるわけですよ。

1日万生させるわけ、1日万生。死ななきや、生きて死ななきや、それも鉄の棒でバーンと上がって下がって、本当にあなた方、正気なのと言いたいわけです。

そういう時空があるのですよ、本当に。だから、私がちょっと南伝でお話すればもう逃げ出すわけです。怖いって。実感を伴うから。

だから、まあこういう事をしているからそういう世界と全く関係ないけれどもあなた方はね。蓮の花も貫うし、だから、こういう切符を落とさないように。王様だろうが何だろうが関係なく落ちて行くから。

特に位が上がれば上がる程、高い所から落ち易いから。だから私たちは名無しの権兵衛で非常にラッキーなのです。

【参加者】

1 2 因縁の事で、死ぬ5秒前にこれが始まるわけですよこのプロセスが、

【水源師】

まあそこらで、5秒か1秒かそれくらいの、もう時空がないのですからね。あの覚えて下さい。一念即無量永劫、一念即無量永劫、時空、分かります？

【参加者】

分かりません。

【水源師】

1劫は凄い長いでしょう？無量永劫という1秒がその値にもなるわけです。

【参加者】

長い。

【水源師】

そうそう。

【参加者】

これが始まっちゃったら、自分としてはどうしようもないわけですか？

【水源師】

死ぬ直前に、その時に、やっぱりドアが開くから、ここに行きたくないで替えられる、修行していたら。それがダライラマ法王、チベット比丘の手法で、ここに行きたくないで、ここに行くで自分で決定できるから、それが死ぬ前に何回もやるわけです、修行して。ああ、これこれ。と全部選択しているから、来た、来た、ここだといって行くわけです。

【参加者】

例えば、死ぬ前に家族が「お父さん死んじゃあ嫌だ、嫌だ」

【水源師】

ああ、ダメダメ、ダメダメ。

【参加者】

医者が心臓マッサージとかしちやったらどうなっちゃうわけですか？

【水源師】

それはしゃあない、もう修行していないし、皆がしていないから。

【参加者】

修行していても「お父さん死んじゃダメ」とか、医者が心臓マッサージを始めちゃったりしたらどうなっちゃうのですか？

【水源師】

まあ、生き返ってまた死ぬ時、同じプロセスになるでしょうね。

【参加者】

マイナス

【水源師】

マイナスかプラスか分からないけれども。まあ、それはただ生きてそれで生き返したと。ただ生きた時にその時空の1年か2年1ヵ月また本気になって修行できれば良いけれども、その世界に入れないでしょう？

だから、生きている時にせめてニミッタ1時間持てば、私が指導てあげますからと言いました。Cさんやったじゃないですか？それだけこの法随観というのは、究極の究極で、結局ここを指しています。私の願いはこれをやって下さいと。それでこれを伝えて下さいと言っているわけです。だからあなたは変えられますよ、もうそこを教えたから。

【参加者】

心臓マッサージなんてやられたら、行きたい方に、行けないのじゃないのか？

【水源師】

いや、逆に良い所に行く。ところが、逆に生き返って、また変な所へ行くチャンスもあります。

【参加者】

でも先生、死んだ人に「泣かないで下さい」「同じ所に行きますね」言っちゃうそれって。

【水源師】

同じ所に行って、同じ暗い所、悪い所に行くかも知らない。良い所だったら良いけれども。

だから、最初ここでやった時、もう見渡す限りの幽霊がわーっと観えて、これどういう事なのかと。皆さんと一緒に海潮禅やって待っていたのですね、その苦から抜けるために。

それが、ペルーのナスカの地上絵のところに五千年前のお墓があるのですね、ピラミッド、それを発掘した時に。それで、なぜか私がそこで瞑想したら、そこでやっとその霊界から抜けて天界に上がるか、別の時空に行く、それを観ました沢山上がって行くのを。

【参加者】

先生、瞑想の時、何か、黄色の服を観たら、どういう事ですか？

【水源師】

黄色い服は祝福でいい事ですね。

【参加者】

そして真ん中は川があります。こっちは瞑想をする人がいっぱいいる。

【水源師】

それは凄く良いビジョン。

【参加者】

川の向こうに瞑想している人が沢山いる

瞑想をせずして仏教を知る事は出来ない

【水源師】

川の向こう。ああ、まあまあ。阿弥陀の世界は瞑想の世界だからね。阿弥陀の世界は水に囲まれているから、ズーッと決壊が水で張られて、だから水の上には宮殿があります。それがインレイクですか、あのイメージです。

だから、台湾のお坊さんが毎年、莫大な寄付をしてくるでしょ。そういう事で。

それが、私がそういう所に行かなければね、実態として感じないと思いますよ。やはりそこに行って旅をしているから、こうして何のてらいもなくペラペラペラとお話できるけれども。

そういう事も分からずに、ポンポン言ったら大変な事になるからね、確認しないで。

特に、法華経も読んでいるのか読んでいないのか分からない事をして、こればかり考えたら大変ですよ、本当に。本当に大変。

皆を正に、暗き所に連れて行くような感じです。分からない人が分からない事をいくら言ったってどうします？

この、私の言った事がもう壮大な話、この法華経はもっと超壮大な話だから。それを信奉する方は本当に心を決めてしっかり、頭じゃなく実際の物理学から宇宙学からやってじゃなければね、妄想です妄想。自分で作り上げた宇宙。

百年前の宇宙観というのは、全然違いますからね。特に千年前の宇宙観では、全然違うから。それにちゃんと合って、お釈迦様と理と実。そういう真理と実際の事が合わなければ話にならないと、御経の中で言っています。

だから、自分の理論だけ、セオリーだけでこうだと。とても恐ろしい事だと思いますよ。

特に、やっぱり、仏教は瞑想から始まっていますからね。その瞑想をせずにして仏教を知ったと。これはありえない話。だから結局、親鸞聖人も法然上人も瞑想していたはずだと。浅原才市の話で瞑想していたじゃないですか？ずーっと。

だから自分の都合の良いようにやりたくないから、そういう風に曲げて、そうだろうと、できない。皆もここに連れて行く事はないと。自分ひとりだけ入るのは怖いからね。皆で行けば地獄も怖くないと。それは辞めて下さいとお願いしています。

だから、その昔マレーシアのクワラルンプールで会ったこの方が元日本兵で、南京事件の時のお話をして下さい、日本に帰って坊主になって一生懸命悔い改めて、そして生まれた所が中国人の金持ちの家に生まれたけれども、まさかそれがちゃんと覚えているから、その苦しきや大変だって。それで私に色々話してくれて、毎日毎日こう懺悔懺悔して、1,000 ページ書けば、1 ページくらい薄れるかな？と。

一番、大変だったのは、こういうサマネーラね、サマネーラの衣を着る事がもう、もの凄く苦しかったって。それでも何とか着せて頂いて。でも毎日、地獄の仲間の悲鳴が聞こえてくるって言われていました。

それは、もう恐ろしくない？ 下へ落ちたら大変だよ。ダンテ・アリギエーリのその神曲も読んでみて下さい。同じ事書かれているから。

それよりは、こういう風に瞑想して、本当に蓮の花まで皆さん頂いた、それから阿弥陀の国にも行ける浄土決定もさせてもらった。これは凄い、凄い切符ですよ、落とさないように、本当に落とさないように。いつでも笑ってにっこり笑って死ねますから。死なんて怖くない。

【参加者】

日本の病院で死ぬというのはそうはいかないのではないですか？色々処置されちゃって。日本の病院で臨終する時は、そのままジーっと見てて、良い所に旅立って下さいね、ってわけには行かないのじゃないですか？色々処置されちゃて。

【水源師】

それはしゃあない。

【参加者】

そういう風に、有効に使えるものなののでしょうか？

【水源師】

あなたは使えるけれども、あなただけの1枚切符。

【参加者】

皆。

【水源師】

皆クーポンじゃない。クーポンにするのだったらやっぱり修行してそして実際に観て、それで一緒に、こういう風に瞑想させたらあなたはクーポン作れるけれど。

それは半分切ったら、切符使い物にならないよ。仕方ない。そういう。臨終の直前に皆送ってあげたいけれども、本当に行くのかどうか全く保障なし。行くかもしれないし。的をね、ボンボン打って持って当たるか当たらないかそれは分からないけれども、それはもう確実に的のど真ん中に当たる切符もらったのだから、そうお告げも受けたし、大変な事です、実は。

【参加者】

じゃあ要は、心臓マッサージされても大丈夫という事ですか？

【水源師】

そう、大丈夫

【参加者】

よく分かりました。

全ては因縁

【水源師】

死という事は無いわけですね。だからアメリカのそういう超科学をしている

人も分かっているみたいで。ただ、彼らは知りたくない悪い事をしているから。いやほんと。

だから、永遠に命を伸ばしてクローン作ってもまた一緒。一時的なもの。それよりは、こうして法を求めて、何処でも良いから一生懸命法の中に入っていて修行できれば良いけれども。

まあ、なかなかそう簡単じゃないし。日本でこういう浄土でこういう環境で座れるという事は、どれだけ、もう本当に極楽の一步手前にあなた方いるのと一緒にだから。

ミャンマーに行ってごらんなさい。大変だから、皆比丘、比丘尼、逃げて帰って来るから。病気でね、病気で。

私は、なぜか奇跡的に全然分からなかったから行ったけれども。そういう本を読んだら、おお、もう私は出来ないともう近づきもしなかった。だから全ては因縁ですね。ちょうど「犬も歩けば棒にあたる」と。そんな感じです。まああちこち旅させられるのですね。良いですか？

【参加者】

ありがとうございました。



バガンの僧院遺跡

水源禪師法話集 90

(2018 年 5 月 4 日山梨合宿 8 日目)

2019 年 3 月 14 日発行

編集兼発行 一乗禅の会